

7年ごしの目標達成！

アルミを回収して、車いすを「けいこう園」へ贈呈！

東部中（大谷清純校長）では7年前から生徒会厚生ボランティア委員会で「車いすを老人福祉施設に送ろう」を目標に、全校生徒に呼びかけ、アルミ缶やアルミ缶のプルタブを集めてきました。今年度車いすを購入することができる資金がたまり、12月24日、東多久町にある養護老人ホーム「けいこう園」に車いす1台を贈呈しました。

贈呈式では、クリスマスに合わせサンタの衣装を着た厚生ボランティア委員会委員長の井手千夏さんと副委員長の山崎彩加さんが、「先輩方から代々受け継がれてきた目標が達成でき、今年私たちの代で車いすを購入することができました。どうぞ受け取ってください」と入所者に車いすのクリスマスプレゼントを贈りました。この活動は評価され、今年度の「善行児童生徒表彰（県教育長表彰）」を受賞しました。

▶車いすを贈る東部中厚生ボランティア委員会井手さんと山崎さん



「行動力・機動力」を発揮し、地域の安心・安全を！

多久市消防団出初め式

多久市消防団の出初め式が1月8日に行われ、団員約370人が多久消防署南グラウンドから式典会場の中央公民館まで横尾市長の観閲を受けて分列行進しました。

式典では優良団員、永年勤続団員への表彰をはじめ、操法大会に出場した女性消防隊およびラッパ隊へ記章、記念品が授与されました。横尾市長が「火災や水防でのみなさんの迅速で的確な行動は訓練の賜物です。今後も『行動力・機動力』を大いに発揮していただきたい」と団員を激励。陣内成和団長は「全団員一丸となって、市民のみなさんの安心・安全のために役立つよう努力しましょう」と年頭の訓示を述べました。

また、緑が丘小学校少年消防クラブによる演奏や、双葉保育園幼年消防クラブによる演技が披露され式典に華を添えました。



▲横尾市長に人員報告をする陣内成和団長

七草がゆで心も身体も温まりました！

1/7

七草がゆを食べて今年も健康な1年を過ごそうと、西多久町くど造り民家「森家・川打家」で七草がゆ会が開かれました。



西多久町内で採れた食材で作られた七草がゆや女山大根のふるふき大根、幡船汁のメニューは地元の婦人会や「幡船の里」の会員が前日よりこしらえました。佐賀市より毎年来ている女性は「地元の温かい心が伝わってきます」と感激。鬼火たきもあり1年の無病息災を祈りました。

歳末助け合い募金

12/22

国際ソロプチミスト佐賀中部（笹川澄子会長）は、多久市社会福祉協議会へ歳末助け合い募金を行いました。1989年に小城・多久市で佐賀中部を組織化し、チャリティーバザーと会員の会費から毎年寄附を行っています。



国際ソロプチミストとは、人権と女性の地位を高める奉仕活動をしている世界的な組織です。笹川会長は、「ボランティアや青少年活動もして、女性の資格取得に援助もしています」と話しました。